

事業報告書

事業名 ママ（女性）が輝く社会の実現を目指そう応援プロジェクト



1 実施団体

ママが地域で輝く場づくりを目指す団体 mamanicotto（ままにこっと）

2 担当課

企画政策課、子ども家庭支援課、社会教育課、スポーツ推進課、健康課、市民活動推進課（東青梅市民センターを含む）

3 実施時期

2015年6月8日（水）～2016年3月31日（日）

4 参加者 約744名

実施月	協働課	講座名	人数
7月	社会教育課	スターバックスの美味しいコーヒーの淹れ方&青梅のチョコレート工場のチョコをちょこっと食べよう	14名
8月	スポーツ推進課	夏だ！ベビーとハワイアンリトミック教室♪	14組 28名
9月	子ども家庭支援課	保育園・幼稚園ってどんなところ？市の子育て新支援制度って？	17組 34名
9月	市民活動推進課	キッズ英語&オリジナル絵本作り	11組 24名
11月	子ども家庭支援課	ベビースキンケア	6名
12月	健康課	幼児食講座～青梅の野菜を使って、簡単お祝いメニュー	11名

		ユーをつくって食べよう	
1月	企画政策課	ママが働くはじめの0.5歩	17名
3月	全課	ママが輝くフェス～mamaフェス	600名

※5月おうめ健康まつり、11月アートフェスティバルも協力

5 実施場所

市民センター（東青梅・今井）、青梅市総合体育館、市役所

6 事業の目的

「子育てを楽しみ、自分の趣味も続けたい」

「家族の時間を大切にしたいし、仕事もしたい」

「家事もちゃんとこなしたいけど、たまにはほっと息抜きしたい」

「家庭の中のママとしてだけでなく、女性として社会で活躍したい」

女性はママになり、いろいろな悩みを抱えながら奮闘しています。

そんなママに寄り添い、ママの生活が輝き家族も笑顔になるお手伝いをすることで、地域のつながりの中で活かしあって生きていく地域の輪ができます。そんな社会の実現を目指します。

ママや家族が成長できる機会を生み出し続けるために、仲間と”であい”、好きなことを”まなび”、地域で”はたらく”場をつくっていけるような機会を継続的につくっていく事業を実施します。

7 役割分担

- 団体の役割
 - 事業の実施
 - 事業の継続運営およびママ（女性）の居場所確立、自立応援を行う
- 担当課の役割
 - 講座の運営支援
 - 事業の広報および周知
 - 会場の確保
 - 講座の選定および派遣

8 事業の効果（どのような地域課題が解決できたか）

自団体は現在5名の若いママで構成されていますが、それぞれ特技・スキルが違います。特技・スキルはパソコン、講座講師、人材ネットワーク、地域活動・NPO知識など多岐にわたります。このようなママ（女性）の特技・スキルを青梅市のためにまた同じママ（女性）のために活用し貢献したいと思って、日々活動しております。

今回、私たちのスキルを活かして、ママ（女性）のくらしと仕事に寄り添いながら、ママ（女性）の居場所また活躍できる場づくりを目指す第一歩をまずは団体として踏めたのではないかと考えております。また参加者のニーズを把握して、何が求められているのかを知る機会となり、参加者のママ（女性）たちにまずは一歩、寄り添うことができたのではないかと評価しています。最後に、今年度の助成金募集要項の中に行政テーマで青梅市として「女性の活動推進支援事業」に積極的に取り組みたいとありましたが、この内容にも貢献できたのではないかと考えております。

9 目標達成

事業の目標：

- 団体としての組織化
- 多様な講座を実施することで、ママ（女性）のニーズがどこにあるかを知る
- ママ（女性）が出会い、学ぶ場をつくり、その場で自分の今・今後と向き合ってもらえる機会をつくる

目標の達成具合：達成

10 事業の実施内容



7月 スターバックス

地元のお店とコラボ。お店の方もママにより利用してほしいし、ママの声に寄り添いたいという想いもあり、実現！



8月 ハワイアンリトミック

ままにこっとメンバーが講師になり、講座を実施。まずは自分たちがやってみる。そして、ママたちが講師へ。



9月 英語講座

8月講座と組み合わせて実施したことがある講座。今回は英語は別で深く学びたいという希望に応じて実施。

11月 スキンケア

ママで「やりたい！」という先生とコラボ！
子どもの肌のことで悩んでいる方に寄り添えたのでは？
中には、自分でこのような仕事をしたいというママもいた！



1月 働く講座

企画政策課・商工会などと何度もママの仕事のしくみ作りから話し合いました。
このような講座がまずはママのスタートになるのでは？と開催。



9月 保育園・幼稚園を知る

私たちがいないから困ると思っていたのと同じく、ママたちから希望が！今後続いていく必要のある講座。



12月 幼児食

食のことは子どもとはかせない。
市で大人気の栄養士江川さんと実施。
交流の場としても◎



3月 mama フェス

全課に協力していただき、開催できた mama フェス。この日をきっかけに動き始めた出展者・参加者のママが多いと聞きます。少しでも一歩を踏める機会になり、みんなが集まる場になったら嬉しい限りです。

11 実施団体と担当課の事業評価

4 はい 3 どちらかといえば「はい」 2 どちらかといえば「いいえ」 1 いいえ

● 社会教育課

調査項目	団体	担当課
(1) 事前の話合いを十分に行い、役割分担は明確になっていた	4	4
(2) 事業に最もふさわしい協働形態が選択された	4	4
(3) 協働の役割分担は適切だった	4	4
(4) 協働相手は適切だった	4	3
(5) 対等な立場での協力関係を築けた	4	4
(6) 協働相手の自主性・自立性は尊重された	4	4
(7) 事業実施は円滑になされた	3	4
(8) 設定した目標が達成された	3	3
(9) 協働で行うことにより効果がある事業だった	4	3
(10) 今後の課題と改善策をお互いに話し合った	3	4

● スポーツ推進課

調査項目	団体	担当課
(1) 事前の話合いを十分に行い、役割分担は明確になっていた	4	4
(2) 事業に最もふさわしい協働形態が選択された	4	4

(3)協働の役割分担は適切だった	4	4
(4)協働相手は適切だった	4	4
(5)対等な立場での協力関係を築けた	4	4
(6)協働相手の自主性・自立性は尊重された	4	4
(7)事業実施は円滑になされた	4	4
(8)設定した目標が達成された	4	4
(9)協働で行うことにより効果がある事業だった	4	4
(10)今後の課題と改善策をお互いに話し合った	4	4

●子ども家庭支援課

調査項目	団体	担当課
(1)事前の話合いを十分に行い、役割分担は明確になっていた	4	4
(2)事業に最もふさわしい協働形態が選択された	4	4
(3)協働の役割分担は適切だった	4	4
(4)協働相手は適切だった	4	4
(5)対等な立場での協力関係を築けた	3	4
(6)協働相手の自主性・自立性は尊重された	4	4
(7)事業実施は円滑になされた	3	4
(8)設定した目標が達成された	3	4
(9)協働で行うことにより効果がある事業だった	4	4
(10)今後の課題と改善策をお互いに話し合った	3	3

●市民活動推進課（東青梅市民センターを含む）

調査項目	団体	担当課
(1)事前の話合いを十分に行い、役割分担は明確になっていた	3	3
(2)事業に最もふさわしい協働形態が選択された	4	4
(3)協働の役割分担は適切だった	4	3
(4)協働相手は適切だった	3	4
(5)対等な立場での協力関係を築けた	4	3
(6)協働相手の自主性・自立性は尊重された	4	3

(7)事業実施は円滑になされた	3	3
(8)設定した目標が達成された	3	4
(9)協働で行うことにより効果がある事業だった	4	4
(10)今後の課題と改善策をお互いに話し合った	4	3

●健康課

調査項目	団体	担当課
(1)事前の話合いを十分に行い、役割分担は明確になっていた	3	3
(2)事業に最もふさわしい協働形態が選択された	4	4
(3)協働の役割分担は適切だった	4	3
(4)協働相手は適切だった	4	3
(5)対等な立場での協力関係を築けた	3	3
(6)協働相手の自主性・自立性は尊重された	4	3
(7)事業実施は円滑になされた	2	3
(8)設定した目標が達成された	4	4
(9)協働で行うことにより効果がある事業だった	4	3
(10)今後の課題と改善策をお互いに話し合った	3	1

●企画政策課

調査項目	団体	担当課
(1)事前の話合いを十分に行い、役割分担は明確になっていた	4	4
(2)事業に最もふさわしい協働形態が選択された	4	4
(3)協働の役割分担は適切だった	4	4
(4)協働相手は適切だった	4	4
(5)対等な立場での協力関係を築けた	4	4
(6)協働相手の自主性・自立性は尊重された	4	4
(7)事業実施は円滑になされた	4	4
(8)設定した目標が達成された	4	4
(9)協働で行うことにより効果がある事業だった	4	4
(10)今後の課題と改善策をお互いに話し合った	3	4

12 まとめ（今後の課題や改善点など）

●全体の感想として

・参加者のアンケートは全体的に好評価で、他にもこういう講座をやってほしいという希望がありました。

・ママが働くという意味で、講座などに参加してもらった方で趣味や特技のある方に講師をしてもらうというところまでは辿り着けませんでした（習熟度の把握や判断も難しいところ）。今回は託児スタッフとして参加してもらったり、ママフェスでも主催者側として関わってもらうことはできました。

・課題として、参加費が市からの補助があるからママたちも気軽に参加しやすい金額に設定できるが、将来的にそれに頼らない場合、価格設定が難しいこと（参加者の金銭感覚はかなり厳しい）、広報の面で、広報おうめでの周知の力が絶大だったため、今後の広報も課題。

●新たな提案も！

青梅市の問題で、高齢化によりお年寄りが孤立しているので、地域のお年寄りや若いママや子どもたちを交流できないかという意見を知り合いの民生委員や働く講座参加のママさんからいただきました。

ママ（女性）の問題以外の地域課題（この場合は高齢化）とのマッチングも今後考えていくことが団体運営をしていく上では必要な事項だと感じました。自分たちだけでなく、今後も青梅市や周りの協力者の方々と協力しながら地域の課題解決の一端を担える団体でありたいと思いました。

●最後の集大成 ママが輝くフェス～mama フェス

集客が600名とまずはママたちが集う場として成功できたと思っています。ママ目線で会場設営ができたので、たくさんの方から「子連れでも楽しめた」「今年もやってほしい」「自分も青梅のママたちのためになにかイベントを開こうと決めた」などとの意見をいただきました。

特技を披露したママ（女性）の出展者からの意見としては、

自分の好きな事で報酬（売り上げや謝礼、参加者の笑顔）を貰えて、参加

できてとても嬉しかった、自信に繋がった、意欲が出たという意見。

全国各地で活躍している体育館講座の講師からは、ママたちの力でこの規模のイベントを開催し、実際に集客でき、満足してもらっているということは本当に素晴らしいと思います。ママ（女性）の力に本当に感動しましたというお褒めの声をいただきました。

反省点としては、

- ・ 午後は昼寝の時間のため、集客が少なかったこと
- ・ 小学生向けの講座は、小学生は自分で参加の意思を親に伝えられたり、土日は習い事があったりすることからあまり集客出来なかったこと
- ・ 実行委員会などママフェス開催の段取りをどうしていくか今後開催するのであれば検討する必要があること

今後開催する場合は、

今回の実績を元にできるので、今回程の負担は無いが、やはり市の方の人手や広報、お金の支援が必要。ブース数は少し増やせそうだが、各ブースの運営方法や個人情報管理など、今後本当に「働く」につなげていく上でもこういった面での打ち合わせや指導ももっと必要だと感じました。

● 今後について

団体メンバーもママであるので、私たちも妊娠・出産・家庭・仕事のバランスがあり、無理なく活動できればと思っています。今年1年協働事業をさせていただき、事業の課題や今後について考えられる素晴らしい機会となりました。青梅市の方を含め、いろいろな方からいただいた意見をもとに、今後も皆さんと協力しながら、下記4つの事業の横の連携もとりながら活動していきたいと思っています。本当にありがとうございました。

- ・ すてきな人発掘プロジェクト：ママ同士のつながりを持てるよう交流会や講演会を開催。つながりから、すてきな人を発掘しママが特技を活かせる場を提供。講師・参加者として講座に参加するママがいて、自己実現をはかる。

- ・サークル支援プロジェクト：市のサークル制度を活用し、すてきな人発掘プロジェクトの講座で継続的に講座を実施していくママをサークル支援していく。
- ・癒しプロジェクト：育児疲れやママになり環境や身体が変化したストレスを改善できるリラックスした空間を提供する。
- ・地域デザインプロジェクト：地域情報やママとして働くとはどのようなかたちがいいのかなどママが必要な情報を“見える化”していく。

13 その他

- ・HP、facebook ページを作成しました。

ママ（女性）たちに必要な子育て情報などを発信しています。

<http://mamanicotto.jimdo.com/>

<https://www.facebook.com/mamanicotto/>

- ・講座チラシや広報おうめで、団体の周知がたくさんできました。

チラシを作成できるメンバーがいることから、他団体・おうめ創業支援センター「Begin!」などからもデザインの面でお声がけがあり、今後、今までの青梅にない「デザイン」というアプローチも可能かと思っています。

平成27年度市民啓蒙活動事業 ままにっこ講座
保育園・幼稚園ってどんなところ？ 市の子育て新支援制度って？
**現場の声を聞いて
わが子に合わせた園選びを考えよう**
平成27年度から導入された
子育て新支援制度や、
新しく始まる育後の子育て事業に
ついて市職員がわかりやすく解説！
現役園長先生も登場！
入園までの流れや
園選びのポイントを
映像と一緒に具体的に説明！
元保育園・幼稚園関係者が
園での生活や子どもの様子などを
楽しく紹介します♪
後半は自由に質問できる交流タイムも！
幼保園の申し込みや園見学時に
入園の不安を解消し、
あなたのお子さんに合わせた
園選びについて考えましょう。
講師 笠盛人氏 (市の各保育園 園長)
堀川 多津子氏 (市民啓蒙士)
山川 武美氏 (元幼稚園教諭)
子育て推進課 職員
対象 妊婦～未就園児の母親
お申し込み済みの子育て支援センターのみ
定員 先着20組(予約制)
費用 300円(持ち物) 筆記用具
9月18日(金)
午後1時30分～午後3時30分
会場 今井市民センター和室
TEL 0428-908-1
お申し込み 直接または電話で 子ども家庭支援課(TEL. 0428-22-1111)へ

平成27年度市民啓蒙活動事業 ままにっこ講座
親子で一緒に! キッズ英語&オリジナル絵本作り
ネイティブの先生と
英語で遊びながら
オリジナルの絵本を
作ろう!
講師 DJ Wilson 氏 (経理業務英語講師) 定員 先着10組(予約制)
河辺 未世 氏 (児童英語講師) 費用 1,000円(材料代、お茶菓子代含む)
3歳～8歳のお子さんと 費用 1,000円(材料代、お茶菓子代含む)
保護者 持ち物 筆記用具、色ペン、のり、はさみ
お申し込み済みの子育て支援センターのみ
9月27日(日)
午前10時～正午
会場 東青梅市民センター和室
TEL 0428-24-8110へ
お申し込み 直接または電話で 東青梅市民センター(TEL. 0428-24-8110)へ

ママ(女性)が楽しむフェス
Mama Fes
フェス
3/6 SUN.
ファミリーで楽しめるフェス開催します。
3月6日(日)10時～15時
会場 東青梅市民センター
TEL 0428-908-1
ワークショップ
ママフェス
カフェコーナー

・中間報告時に、スポーツ推進課から
スポーツ教室講座・イベントの企画運営について、青梅市単独では出来ない「いまの市民のニーズ」に合わせたものであり、その結果、市民の方から大変好評を得ていると評価をいただきました。今後もこのような講座・イベントを継続的に提供するためにスポーツ推進課として文部科学省およ

び東京都（オリンピック・パラリンピック準備局）の支援している制度である「総合型地域スポーツクラブ」という仕組みを活用し、「地域スポーツ文化交流クラブままにこっと」として継続的な支援及び市民協働を図っていきたいというお話しを頂戴しました。そして、2016年度から正式にクラブとして市民協働事業を継続していくことになりました。また広報おうめやHPなどで周知をしていきますので、施策連動としての応援を宜しくお願いいたします。

※クラブ設立日、平成 27 年 12 月 25 日付（東京都届出書受領）

ママ（女性）たちが学び、集え、働く一歩を考えられるような場を提供できるようにこれからも頑張ります！！